

# Governor's Monthly Letter

2016-2017 第2610地区活動方針「語り合おう ローター」



「水面の合掌造り」



## 母子と健康月間

2016-2017年度は、R財団100周年記念の節目の年を迎えました。財団100周年をお祝いするに当り「祝う気持ちを形にかえて、ニコニコBox」のご投函を第2610地区会員全員に呼びかけました。本来ニコニコBox資金はクラブ活動費として賄われているところですが、この度1回に限りR財団100周年を祝し単位クラブ名でニコニコBox資金を財団寄付するよう運動を展開いたしました。結果、第2610地区会員全員のご賛同を頂き、全国でいち早く「寄付0クラブ」を達成することが出来ました。3月28日東京にて開催される第1.2.3ゾーン会員基盤向上セミナーにてこのアイデアを発表するよう要請を頂きました。地区内ロータリアンのご理解とご協力の賜と深く感謝申し上げます。

昨年4月に規定審議会の大幅改定が行われ、現在各クラブにおいて柔軟性を活かしたクラブ定款・細則の改定作業が進められています。一方、今年度は8年に一度の国際ロータリーゾーン再編年度に当たります。国際ロータリーでは、1つのゾーン構成会員は35,000人が基準とされており、日本は1.2.3の3つのゾーンを合わせて会員は現在90,000人を少し割り込んでおり、3つのゾーンを継続させるには約15,000人の会員が不足となりました。そのため今年度の再編成では、従来の第1ゾーンの4つの地区を第2ゾーンに編入、1つの地区を第3ゾーンへの編入となり5つの地区が移動することになりました。このように第1ゾーンから移動した5つの地区に替わってパキスタン2地区、バングラデシュ2地区、インドネシア2地区が第1ゾーンに編入されることになりました。各クラブの運営に直接的な影響は少ないと思われませんが、日本のロータリーとしては難しい局面が生まれてきそうです。

さて、今月は母子と健康月間です。日頃偏りがちなロータリー活動の認識を広く深めていただきたいとMy Rotaryから関連する資料を引用させていただきました。

「毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防可能なものばかりです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子供がすくすく成長できるように、私たち支援活動を行っています。ロータリーはこんな活動をしています。教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。母子の健康における運動の成果としては、地域社会が自力で母子の健康を守っていけるよう研修と支援を行うことによって、持続可能なかたちで母子の健康を促進しています。活動例には、西半球で母子の死亡率が最も高いハイチでは、医療ボランティアと助産師が僻地に住む母と子どもに医療ケアを提供できるように、医療機器を搭載したジープを寄贈しました。インドでは、可動式の癌検診機器一式の提供と、認識向上を目的とした研修の実施。産科ろう孔の治療自宅出産を安全に行うため、ロータリー会員が300万ドルを投入して5年間の試験的プロジェクトを開始しました。このプロジェクトでは、2005年以来、産科ろう孔で苦しむ女性たちの尊厳と希望を取り戻すために、当初の目標を500人上回る1500人の治療を行ってきました。」

『母親が強く、健康であれば、その家族も強く健康になり、貧困と飢餓も和らぎます』

Robert Zinserさん（人口と開発のロータリアン行動グループ共同創設者、BASF元アジア統括部長）

第2610地区においては、様々な奉仕活動が活発に展開されていますが、グローバル補助金を活用した国際間の事業は数少ないのが現状です。母子と健康の月間を通し、認識を新たに、「世界で良いことをしよう」の事業展開の糧に繋がることを期待いたします。

ガバナー 岡部一輝

2017.4  
vol. 10

Rotary International District 2610



人類に  
奉仕する  
ロータリー

## 富山第2分区 IM報告

2月23日(木) 於:ホテルグランテラス富山  
広報委員長 水間 久雄(富山中RC)

ロータリー創立記念日当日と併せ、世界理解と平和の日の2月23日(木)に、岡部一輝ガバナー、久恵龍三地区副幹事、榊田敬次郎パストガバナー、高柳功パストガバナー、中尾哲雄パストガバナーの出席を賜り午前11:30から富山市内のホテルグランテラス富山で富山第2分区「IM」を山本倫郎ガバナー補佐の指導の下、開催致しました。

特別講演として、チェンライロータリークラブパスト会長の原田義之様より「行動する国際奉仕」について「輝く瞳に会いに行こう」と題して講演をして頂きました。原田義之様は、RI ジョン・ジャーム会長が掲げる「人類に奉仕するロータリー」のテーマをそのままに、身を賭して奉仕を実践し、タイ国にて国際奉仕活動を現在続けています。

人道支援の取り組みや、識字率向上の大切さ、水と衛生と母子の健康の問題全ての始まりの根絶に寄与する方法をご自身のタイ国での資料映像を見ながら紹介して頂き、今一度心を新たに「超私の奉仕」を心に刻んだ一日になりました。

当日は、約300名のロータリアンが一堂に会し、国際奉仕活動について意を共に出来、実りの多い「IM」でした。

※詳しくは、地区ホームページに当日のパンフレットを掲載しましたのでご一読下さい。



## 富山第3分区 IM報告

2月26日(日) 於:小杉カントリークラブ直営レストラン  
IM実行委員長 金井 武史(射水RC)

富山第三分区のIMを、射水RCの主催で2月26日(日)、射水市の小杉カントリークラブレストランで開催しました。

今年度、岡部一輝ガバナーの地区活動方針“語り合おう ロータリー”を上田雅裕ガバナー補佐のもとで遂行しました。

第1部は、基調講演という形で、講師を草壁京(くさかべ みやこ)様にお願ひしました。草壁氏は東京都出身で、約3年前に総務省からの出向で高岡市経営企画部部長に就任され、現在、高岡市をはじめ県西部全体のために活躍中の方です。

講演では「北陸新幹線とまちづくり」について、北陸新幹線が開通して2年が経過したことを踏まえ、現状と課題について、いろいろな角度からのお話を頂きました。

『現況としては日本の人口の半数以上が20万人以上の都市に住み、それ以外では都市機能が失われていく懸念があります。北陸新幹線の「かがやき」が新高岡に1便しか停車しないこともその象徴でもあり、現状を何らかの形で克服していかなければなりません。そこで、呉西地区(高岡市・射水市・南砺市・氷見市・砺波市・小矢部市)の広域連携の結びつきを強め、連携事業の協力で魅力を高めていくように考えていくことが必要になってきています。そして呉西地区(6市)の歴史の中で、自然のおよび社会的条件等を考えることによって、まちづくりのヒントが生まれやすいと思っております。』とお話をいただきました。

また、『行政・企業・各種団体が様々な立場で工夫をすれば、まちづくりとし十分な可能性が潜んでいる。』ことも聞かせていただきました。

第2部では、「今回の講演を聞いて」の感想を各クラブ(7クラブ)より3分以内にまとめて発表して頂きました。発表の中では、いろんな観点から発表して貰いました。発表者の皆様には、本当にありがとうございました。

閉会にあたり、永田義邦パストガバナーより、様々な受け止め方で発表して貰い、多種多様な考え方でたいへん有意義な内容になりましたと所感を頂きました。

懇親会は、津田達雄パストガバナーの乾杯で始まりしました。日頃、なかなか会えないメンバーと“語り合おう ロータリー”によって、我々富山第三分区の情報交換、そしてまたより一層の友情を深められたことと思っております。



## 第2回 諮問委員会 開催

平成 29年 2月 25日(土) 於:ホテルニューオータニ

2月25日(土) ホテルニューオータニ高岡において第2回諮問委員会が開催された。

岡部ガバナーをはじめとして、パストガバナーの皆さん、下口ガバナーエレクト、オブザーバ8名の合計22名が参加した。岡部ガバナーから年度前半の経過説明がありガバナー訪問と地区大会が滞りなく終わったことへの謝辞を述べた。また地区ホームページで使用されたロゴマークの肖像権問題が突然発生したが、RIと肖像権管理会社の間で無事解決されたことや、RIゾーン分野再編の動きについても途中経過が報告された。

木勢財務委員長から、地区大会の収支報告と上半期財務報告があった。地区大会の決算は257万円余りの余剰金が発生し、一般会計に繰り入れる旨、報告された。

次に下口ガバナーエレクトより国際協議会の出席報告があり、RI会長エレクトより次年度のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」と発表があった。期間中、1時間20分にわたる全体会議が7回ありRI会長や会長エレクトの格調の高いスピーチに感銘を受けたこと、また1時間30分の分科会が8回あり、みっちり指導を受け、RIの目指す目標が理解できたと発表された。最後に次年度の地区研修協議会のプログラム概要と予算案の概略の発表があり、会議を終えた。



Rotary  
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター

NEWS

2017年4月号より抜粋

### ■Rotaryって何？

この問いをロータリアン各人に質すと、おそらく100人100様でしょう。これでは、世間の方々にロータリーを理解して頂く事は出来ないでしょう。  
○まずは、クラブでこの事を話し合ってみましょう。  
○何を説明するか？ つまり何を話題にするのか？を考えましょう。  
○説明する言葉（文字数）は、少なければ少ない程良いでしょう。  
文字数が多くなれば、その分印象が薄くなります。

ロータリーを正しく伝える為に、まずは「ロータリーの目的」を伝えるべきです。「ロータリーの目的」は大分解り易くなりました。四項目を要約すると  
・知り合いを広め奉仕の機会とする。  
・職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものとする。  
・社会生活に於いて奉仕の理念を実行する。  
・ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する。

上記を少し短くしてみました。[第2570地区公共イメージ委員会作成の例]

「ロータリーって何？ 自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。」  
「ロータリーは、自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。その一環として私達のクラブは、地域で青少年育成事業の支援を行っています。」と訴えれば理解されるでしょう。

更に短く考えた川柳の例もあります。「我磨き仕事を磨くロータリー、地域や世界で奉仕活動」

さあ！あなたのクラブでも「ロータリーを短く表す」事にチャレンジしませんか。

### ■同一地域に複数クラブが存在する場合

この場合は、同一地域の複数クラブが歩調を合わせた社会奉仕を行ったら如何でしょうか？  
夫々のクラブが、協働してこそ効果が表れます。  
各クラブの歩調が合っていないと、(広報の面からは)夫々がマイナス効果となってしまいます。

### ■最後に一言

効果を期待するならば、直ぐに実行すべきです。議論しても実行しなければ何の効果もありません。  
上方の写真は、第2570地区で広報シートを作成して大型バスのリアウィンドウに貼り付けた例です。

小池百合子東京都知事は29年2月の記者会見のある場面で「NATOにならないようにしましょう」と言いました。  
「No Action Talk Only」では先へ進まないという事です。  
勿論、本来のNATO…北大西洋条約機構を否定する言葉ではありません。念の為。

(第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 鈴木秀憲)

# ロータリー希望の風奨学金

希望の風奨学金では、東日本大震災により被災遺児となった青少年たちに、少しでも学業を継続できるような教育支援をしていきたいというのが私たち会員の願いです。このプログラムは資金の続く限り続けてまいります。

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

## 風の便り

### 発生から今日で6年

あの時から6回目の「3月11日」が、また回ってきました。あの日、私は秋田県湯上市の職場にいました。大きな揺れが長く続いたのを憶えています。テレビでは津波の映像がながれていました。秋田県では昭和58年（34年前）に能代沖で発生した日本海中部地震（マグニチュード7.7）による津波で80名を超える方々がなくなりましたが、この中には遠足できた合川小学校の児童も多数含まれていました。その時の津波とは、とても比較にならないほどのものです。

東日本大震災では、亡くなった方や行方不明の方は2万7千人を超えています。幸いにも、東北6県の中で秋田県だけは亡くなった方は一人もおりませんでした。

しかし、ひとりのロータリアンとして、被災地をまわり、惨状を目の前にしたとき、「私に、なにができるのだろうか」という無力感しか感じられませんでした。ガバナーとして、地区内のクラブに義援金の提供をお願いしましたが、独自で支援活動を行うクラブも多々ありました。何もできない自分に苛立つこともありましたが、それ以上のことはできません。当時のガバナー会で被災遺児に対する教育支援のプログラムが提案されました。紆余曲折がありましたが、2011年11月にロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会が組織され、「ロータリー希望の風奨学金」の事業が始まりました。これなら「私にもお手伝いができるのではないだろうか」との思いで参加しました。上野操委員長（2580地区 PDG/ 東京江戸川RC）の後を継いで2014年7月から委員長を努めておりますが、被災県教育委員会への奨学生の紹介依頼、教育機関への連絡、奨学生の申請書の受領と登録確認書の送付、毎年の在学証明書の提出依頼と確認、等々、時には津波のように押し寄せてきます。

しかし、奨学生や保護者の方々から、お礼の電話やお手紙を頂くと、身に余る思いと感じます。これも、ひとえに「ロータリー希望の風奨学金」にご支援くださる多くのロータリアンの皆様あってのことと感謝申し上げます。

私たちの「ロータリー希望の風奨学金」プログラムは被災遺児やご家族にそっと寄り添って、静かに「希望の風」を送り続ける奉仕活動です。全ての遺児が進学の希望をかなえることを目標に粘り強く続けていきます。そして今、私の机の上には、新年度からの給付を待つ54名の新規登録者の名簿があります。

（文責：委員長/地葉新司/2010-2011PG/湯上RC）

ロータリアンは東日本大震災を決して忘れません

ロータリー希望の風奨学金  
被災遺児に教育資金を



「ロータリー希望の風奨学金」は2011年3月11日に発生した東日本大震災で両親や片親を亡くした被災遺児やご家族にそっと寄り添って、「希望の風」を送り続ける教育支援を目的としてロータリークラブが2011年11月から立ち上げました。全ての遺児が進学の希望をかなえられるよう皆様のご支援をお願いいたします。

Rotary ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

# 文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

(353・354号)

## 《忘れ得ぬロータリアン(2)》

◎「ポール・ハリスの合理的ロータリアニズム」	ポール・ハリス	2010	8p
◎「ポール・ハリスの言葉から」	佐藤千壽 横浜鶴見西 R.C.	1976	53p
◎「ロータリー・クラブ」	米山梅吉 社会教育協会	1929	20p
◎「父 米山梅吉のこと」	米山桂三	1963	4p
◎「ロータリーと父 米山梅吉」	米山桂三 東京南 R.C.	1972	8p
◎「人間米山梅吉を大いに語る(その1~3)」 (「よねやまだより」より抜粋)	米山記念奨学会	1986	22p
◎「夫 福島喜三次のこと」	福島朝子	1963	4p
◎「日本ロータリー再建の頃(1~7)」 - ジョージ・ミーンズ回顧録 -	ジョージ R. ミーンズ	1976 ~ 77	27p
			[上記申込先: ロータリー文庫]
◎「ロータリーへの道 三訂版」	ポール・ハリス著: 柴田實 成田 R.C.	2011	372p
			[申込先: 成田 R.C. FAX(0476)33-8786]
◎「ロータリアン福島喜三次傳 (日本ロータリーの曙)」	蒲原権編 有田 R.C.	1986	102p
			[申込先: 有田 R.C. FAX(0955)43-3140]
◎「ロータリーの黎明 ポール・ピー・ハリス」	宮脇 富	1967	3p
◎「第1号 ロータリークラブ誕生 シルベスター・シール」	宮脇 富	1967	3p
◎「ロータリーと歌 ハリー・ラッグルス」	宮脇 富	1967	3p
◎「ラッグルスの回顧録」	宮脇 富	1967	3p
◎「冒険と挑戦 チェスリー R・ベリー」	宮脇 富	1967	3p
◎「ロータリー定礎の三人」	塚本義隆編 大阪 R.C.	1979	42p
◎「献身的ロータリアン群像」	松本兼二郎	1979	8p
◎「我が自叙伝」	ハーバート J. テーラー著: 菅野多利雄訳	1990	219p
◎「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」	鳴海淳郎	2000	9p
◎「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」	田中 毅	2002	85p
			[上記申込先: ロータリー文庫]

【ロータリー文庫】〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 (開館) 午前10時~午後5時 (休館) 土・日・祝祭日  
TEL (03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

## 米山梅吉記念館便り

**シリーズ⑦ 米山梅吉の横顔** 米山梅吉が社長を務めた三井信託株式会社は大正13年3月創業です。当時、信託は馴染みが薄かったのですが、信託業は預けた人のために預かったものを管理運営して利益を還元する奉仕(サービス)であるとお考えだったようです。

当時の思い出として後に信託の社長になられた林賢材さんは「信託会社は営利会社ではあるが、サービスを主眼とせねばならぬと度々諭された。後年三井報恩会の理事長として幾多の社会事業を育成されたことを思い、米山さんは社会事業家としても有数の方であった」と書かれています。三井信託での10年を終え、66歳から三井報恩会の理事長に就任しました。

**シリーズ⑧ 米山梅吉の横顔** 米山梅吉は46歳で「新隠居論」を著しました。一旦名を成した男子はすべからく後進に道を譲り、社会事業に貢献すべしという内容で、報恩会はこの信条の実践の場でした。当時三井一族が3000万、現在換算で800~900億円ともいわれる出資をし、社会・文化諸事業に貢献する目的で設立されました。理事長は米山でした。

ハンセン病への助成出資はもちろん、米山は昭和15年から青森から沖縄のハンセン病棟を訪ね、癌には100万円でラジウムを寄付、結核療養所にもほとんど訪問し、高額な寄付もしています。農村振興も多岐にわたり、東北の疲弊した農村を復興させ、西平内村には、報恩の記念碑が今もたっています。

### 公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1  
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101  
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>  
Email: [yumh@ai.tnc.ne.jp](mailto:yumh@ai.tnc.ne.jp)

[開館時間] 午前10時~午後4時  
[休館日] 月曜日/12月28日~1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



# 例会出席報告 (2月分)

2017年2月末日現在

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)			分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)		
						期初	月末	増減							期初	月末	増減
石川第1分区A	河 北	92.31	8	84.07	30	24	26	2	富山第1分区	朝 日	70.83	56	68.64	60	25	24	-1
	河 北 南	71.59	51	77.18	48	16	22	6		黒 部	65.25	60	71.83	59	15	17	2
	金 沢	90.00	12	90.11	11	112	120	8		黒部中央	64.28	62	77.83	45	20	21	1
	金 沢 東	83.25	28	86.94	21	98	105	7		滑 川	75.00	46	77.60	46	5	2	-3
	金沢香林坊	76.06	45	81.16	38	111	112	1		入 善	71.43	52	74.33	54	9	7	-2
	金 沢 南	87.78	18	92.68	6	55	58	3		宇 奈 月	64.47	61	63.38	64	19	19	0
	<b>6 R C</b>	<b>83.50</b>	<b>3</b>	<b>85.36</b>	<b>3</b>	<b>416</b>	<b>443</b>	<b>27</b>		魚 津	87.50	19	81.38	37	32	33	1
石川第1分区B	白 山	73.74	49	76.87	50	33	36	3	魚 津 西	71.42	53	73.19	56	30	29	-1	
	白山石川	79.92	33	82.77	34	33	34	1	<b>8 R C</b>	<b>71.27</b>	<b>9</b>	<b>73.52</b>	<b>9</b>	<b>155</b>	<b>152</b>	<b>-3</b>	
	金沢百万石	60.09	65	64.22	63	46	47	1	越中八尾	96.58	5	98.24	3	21	22	1	
	金 沢 北	76.63	41	77.10	49	47	50	3	上 市	77.50	38	80.28	40	21	20	-1	
	金沢みなと	84.79	23	82.98	32	41	44	3	立 山	66.66	59	64.82	62	17	17	0	
	金 沢 西	87.83	17	89.74	13	50	53	3	富 山	76.37	43	78.21	43	95	99	4	
	野々市	92.96	7	87.18	20	40	40	0	富山シティー	60.44	64	62.71	65	78	79	1	
	<b>7 R C</b>	<b>79.42</b>	<b>6</b>	<b>80.12</b>	<b>7</b>	<b>290</b>	<b>304</b>	<b>14</b>	富山南	69.39	57	74.11	55	58	59	1	
石川第2分区	加 賀	91.62	9	90.10	12	49	53	4	富山みらい	75.00	46	78.03	44	80	81	1	
	加賀中央	95.97	6	89.15	15	33	34	1	富 山 中	81.74	32	82.14	35	59	60	1	
	加賀白山	83.87	26	86.26	24	29	32	3	富 山 西	97.06	4	95.91	5	63	63	0	
	小 松	82.79	31	78.74	41	57	57	0	富山大手町	67.64	58	76.51	52	48	51	3	
	小松東	76.68	40	81.82	36	33	35	2	<b>10 R C</b>	<b>76.84</b>	<b>8</b>	<b>79.09</b>	<b>8</b>	<b>540</b>	<b>551</b>	<b>11</b>	
	小松シィ	77.28	39	82.89	33	30	33	3	射 水	88.83	15	90.34	9	28	30	2	
	能 美	87.50	19	86.72	22	57	57	0	東となみ	79.05	36	80.66	39	20	21	1	
	山 中	86.83	21	78.24	42	20	19	-1	新 湊	85.20	22	85.48	26	43	43	0	
	<b>8 R C</b>	<b>85.32</b>	<b>2</b>	<b>84.24</b>	<b>5</b>	<b>308</b>	<b>320</b>	<b>12</b>	新湊中央	83.92	25	72.29	58	15	14	-1	
石川第3分区	羽 咋	84.61	24	88.07	19	27	26	-1	高 岡	100.00	1	100.00	1	68	74	6	
	中能登まほろば	71.88	50	77.39	47	18	16	-2	高岡万葉	98.09	3	98.10	4	75	76	1	
	中 島	83.33	27	88.27	18	9	10	1	砺 波	89.86	14	90.21	10	49	52	3	
	七 尾	71.42	53	72.33	57	51	51	0	<b>7 R C</b>	<b>89.28</b>	<b>1</b>	<b>88.15</b>	<b>1</b>	<b>298</b>	<b>310</b>	<b>12</b>	
	七尾みなと	91.53	11	88.38	17	45	46	1	氷 見	79.06	35	84.77	27	41	43	2	
	志 賀	76.32	44	83.47	31	19	19	0	氷見中央	63.46	63	67.27	61	13	13	0	
	富 来	75.00	46	75.31	53	15	16	1	南 砺	88.39	16	89.14	16	52	52	0	
	<b>7 R C</b>	<b>79.16</b>	<b>7</b>	<b>81.89</b>	<b>6</b>	<b>184</b>	<b>184</b>	<b>0</b>	小 矢 部	82.93	30	89.17	14	38	39	1	
	石川第4分区	穴 水	79.54	34	86.06	25	14	14	0	小矢部中	91.55	10	92.37	7	43	42	-1
能 都		76.39	42	86.39	23	37	37	0	高 岡 北	77.78	37	84.20	29	42	42	0	
珠 洲		83.12	29	84.47	28	27	24	-3	高 岡 西	100.00	1	100.00	1	61	59	-2	
内 浦		70.88	55	76.73	51	16	16	0	<b>7 R C</b>	<b>83.31</b>	<b>4</b>	<b>86.70</b>	<b>2</b>	<b>290</b>	<b>290</b>	<b>0</b>	
輪 島		90.00	12	90.47	8	31	31	0									
<b>5 R C</b>		<b>79.99</b>	<b>5</b>	<b>84.82</b>	<b>4</b>	<b>125</b>	<b>122</b>	<b>-3</b>	<b>65RC合計</b>	<b>80.90</b>		<b>82.66</b>		<b>2,606</b>	<b>2,676</b>	<b>70</b>	

# 2016-2017年度 3月奨学期間終了者歡送会報告

平成 29年 2月 18日(土) 於:ホテルニューオータニ

地区米山記念奨学会の2016-2017年度3月奨学期間終了者歡送会が行われました。小柳委員長、委員会メンバーをはじめ、岡部ガバナー、下口ガバナーエレクト、高柳カウンセラーそして、米山奨学生と担当カウンセラー、米山学友会ドン・ウソク会長など、総勢45名で盛大に行われました。終了証授与式では緊張した雰囲気でしたが、その後の懇親会ではそれぞれの思い出や、今後の目標などの発表に一喜一憂する場面が多々ありました。

今後のご活躍を祈念いたします。



## 2月

### R財団・米山記念奨学会 寄付者

#### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

松川 篤裕 2月22日 金沢みなと 1回  
 角出 伸一 2月 2日 加賀白山 2回  
 杉原 忠 2月 2日 加賀白山 2回  
 飯貝 恵秀 2月 2日 加賀白山 1回  
 宮本 次郎 2月23日 富 山 8回

#### 米山功労者 メジャードナー

藪内 捷栄 2月 2日 加賀白山 11回

#### 米山功労者 マルチプル

浅田 裕久 2月 9日 金沢東 7回  
 中島 秀雄 2月 9日 金沢東 5回  
 不室 昭 2月 9日 金沢東 4回  
 北川 義信 2月 9日 金沢東 4回  
 小池田康成 2月 9日 金沢東 4回  
 若林 智雄 2月 9日 金沢東 4回  
 高桑 秀治 2月 9日 金沢東 4回  
 越原 悠三 2月 9日 金沢東 2回  
 高桑 幸一 2月 9日 金沢東 2回  
 山岸 敬秀 2月 9日 金沢東 2回  
 米沢 寛 2月 9日 金沢東 2回  
 松川 篤裕 2月15日 金沢みなと 2回  
 小林 洋 2月14日 金沢西 2回  
 吉田 義明 2月 2日 加賀白山 6回  
 小野 俊光 2月 2日 加賀白山 2回  
 樋口 健三 2月 2日 加賀白山 2回

宮城 敏子 2月 8日 小 松 2回  
 林 一夫 2月 7日 羽 咋 4回

#### 米山功労者

安達 洋 2月 9日 金沢東 1回  
 厚見 正充 2月 9日 金沢東 1回  
 別川 稔 2月 9日 金沢東 1回  
 富久雄佳枝 2月 9日 金沢東 1回  
 二木 克明 2月 9日 金沢東 1回  
 日根野幸子 2月 9日 金沢東 1回  
 久田 欣一 2月 9日 金沢東 1回  
 岩木 弘勝 2月 9日 金沢東 1回  
 鏑木 基由 2月 9日 金沢東 1回  
 金谷 道憲 2月 9日 金沢東 1回  
 金子 福夫 2月 9日 金沢東 1回  
 笠間 史盛 2月 9日 金沢東 1回  
 木村 道明 2月 9日 金沢東 1回  
 小池田康秀 2月 9日 金沢東 1回  
 松木 浩一 2月 9日 金沢東 1回  
 松本 浩平 2月 9日 金沢東 1回  
 水上 誠子 2月 9日 金沢東 1回  
 諸江 賢二 2月 9日 金沢東 1回  
 本谷 裕二 2月 9日 金沢東 1回  
 中川 衛 2月 9日 金沢東 1回  
 中田 吉則 2月 9日 金沢東 1回  
 岡田 直樹 2月 9日 金沢東 1回  
 大島 国雄 2月 9日 金沢東 1回  
 太田 光尋 2月 9日 金沢東 1回  
 酒井 道行 2月 9日 金沢東 1回

坂本 憲一 2月 9日 金沢東 1回  
 鈴木 宗幸 2月 9日 金沢東 1回  
 高岩 勝人 2月 9日 金沢東 1回  
 竹松 俊一 2月 9日 金沢東 1回  
 田中 和彦 2月 9日 金沢東 1回  
 徳野与志一 2月 9日 金沢東 1回  
 山本 晴一 2月 9日 金沢東 1回  
 山崎 修二 2月 9日 金沢東 1回  
 宮本 秀夫 2月 9日 金沢東 1回

#### 会員異動 (入会・退会)

##### ◆ 入 会 ◆

伊藤 勇人 2月 1日 河 北  
 竹中 透 2月 6日 金沢香林坊  
 木下真知子 2月 1日 金沢百万石  
 田中 和昭 2月14日 金沢みなと  
 木下 孝治 2月21日 金沢みなと  
 宮越 哲也 2月 2日 小 松  
 室岡 博明 2月 2日 珠 洲  
 佐々木大二 2月28日 富 山  
 山口 尚稔 2月 3日 富 山 南  
 高林 健二 2月15日 富 山 中

##### ◆ 退 会 ◆

田中 英男 2月 1日(異動の為) 小 松  
 平井 聡治 2月28日 富 山  
 佐伯 克志 2月 1日(私事により) 富山中  
 竹澤 恵子 2月22日(一身上の都合) 高岡西  
 山本 洋一 2月28日(病氣療養の為) 小矢部中

## 4月行事予定表 <母子の健康月間>

3日(月)	地区補助金申請締切	
8日(土)	白山RC50周年	
9日(日)	地区研修協議会	加賀市文化会館
15日(土)	第4回 R財団委員会及び補助金審査会	石川地場産業振興センター
22日(土)	米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション	ニューオータニ高岡
23日(日)	第6回 地区職業奉仕委員会・クラブ会長会議	富山県民共生センター サンフォルテ
30日(日)	河北南RC20周年	



# ロータリー財団地区補助金事業

## 金沢百万石RC



宮城県亘理町  
図書寄贈プロジェクト

## 加賀RC



少年サッカー大会

## 七尾RC



高校生のための映画鑑賞会

## 魚津RC



知的障害児通園施設  
「つくし園」支援事業

## 越中八尾RC



新設オフロード自転車コース  
(富山市)への支援

## 富山RC



富山市立図書館への  
図書寄贈

## 富山シティーRC



浄水器設置支援事業

## 富山南RC



カンボジア・ラオスへ  
絵本を届ける運動

## 新湊RC



親子ふれあい寿司職人体験

## 高岡西RC



高岡市花「かたかご」植栽と  
リング作り

## 高岡万葉RC



ラオス職業支援事業

## 黒部RC



富山県立黒部学園  
園児たちとの交流会

### 編集後記

近藤パストガバナーが71歳の若さでご逝去された。近藤様は2004-2005年度のガバナーを若くして務められ、ロータリーの発展にご尽力いただいたと聞く。ロータリー歴の浅い私は、昨年の地区大会でお目にかかった程度で、お話しさせていただいたこともなく、その人となりを知る由もないが、これからますますご活躍いただけるものと思っていた矢先、大変残念である。心よりご冥福を祈ります。

つくづく思うに、ロータリアンはやっぱり健康が第一、次に生業を全うし、そして奉仕活動につなげていきたいものである。

月信担当地区副幹事 久 恵 龍 三

### 《表紙写真解説》世界遺産「菅沼合掌集落」

4月、雪深い五箇山菅沼合掌集落にやや遅い春が訪れる。雪解けを待ちわびていたかのようにトラクターの唸りが谷あいにとだまし、生きるための営みが始まる。水面に浮かぶ合掌集落の姿は、この時期にしか目にすることのできない絶景だ。まさに日本の原風景と呼ぶにふさわしく、末永く後世に残していきたい。近年は内外の個人旅行客がたくさん訪れ、活況を呈している。

○写真提供：三吉外男会員(南砺RC写真同好会)



国際ロータリー第2610地区

## 2016-2017年度 ガバナー事務所

〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4

南砺市福光会館 2F

TEL:0763-58-5610 FAX:0763-58-5611

E-mail:okabe16-17@rotary2610.com